

株式会社 羽車 企画広報部
TEL 03-6432-9880
E-mail pr@haguruma.co.jp






87期



活動報告書 CSR Report 2022



目次

03. はじめに	
05. 事業活動	
12. 品質・環境・労働安全衛生の取り組み	
24. お客様・地域とのつながり	
33. HAGURUMA Family	

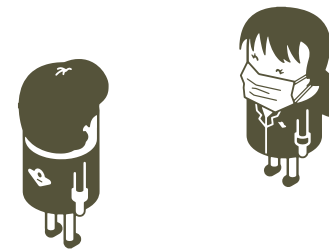
この報告書について

「株式会社 羽車 活動報告書」は、私たちが皆さまから親しまれ、お客様とともに創造性を高める企業であり続けるために、企業理念や活動をお伝えすることを目的に作成しています。同時に、環境・品質・労働安全衛生への取り組みを透明性をもって社内外に開示する報告書でもあります。

私たちの事業活動や取り組み、地域社会やお客様、そして社員とのつながりについて、ご一読いただけましたら幸いです。

株式会社 羽車
企画広報部 永田・柳

対象期間 2021年10月～2022年9月
発行 2022年12月



※誌面の写真について：撮影のため一時的にマスクを外している社員もありますが、社内では適宜マスクを着用しております。



はじめに

代表より

87期の活動報告書が完成しましたのでお届けいたします。

コロナ禍による会社への影響は限定的で、新事業も軌道にのり業績は順調に推移しました。コロナにより多くのスタッフが出社できない時期は、部署の垣根を越えて全スタッフがフォローしたことで乗り切ることができました。

環境面においては、私たちのオリジナル開発紙は全て環境に配慮された作り方に変更しています。紙だけでなく、製造工程においても環境に配慮されていることを条件としています。また、製造過程で発生する余り紙は、87期も地元のこども園・保育園等にお配りし役立ててもらいました。

87期は、人材育成を目的とした社員研修を継続的に行いました。新しい取り組みとしては、社会課題を扱った映画の上映会を社内で行いました。初回は『プラスチックの海』を鑑賞し、SDGsとして私たちが向き合う問題を知る機会を提供しました。研修や上映会後には懇親会を催し、仕事以外での社員間コミュニケーションを促進しています。

また社員向けイベント「チーム対抗ウォーキングチャレンジ」は、日頃の運動不足解消につながり健康経営に寄与しています。

この報告書は「事業・環境・地域・社員」そして「社会」との繋がりや取り組みを紹介したものです。ご一読いただき、私たちの仕事への理解と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

羽車は2023年に創業105年を迎えます。これからも企業の社会的責任を果たし、世の中に必要とされる100年企業を目指す所存です。引き続きご指導のほどよろしく申し上げます。



代表取締役社長
杉浦 正樹

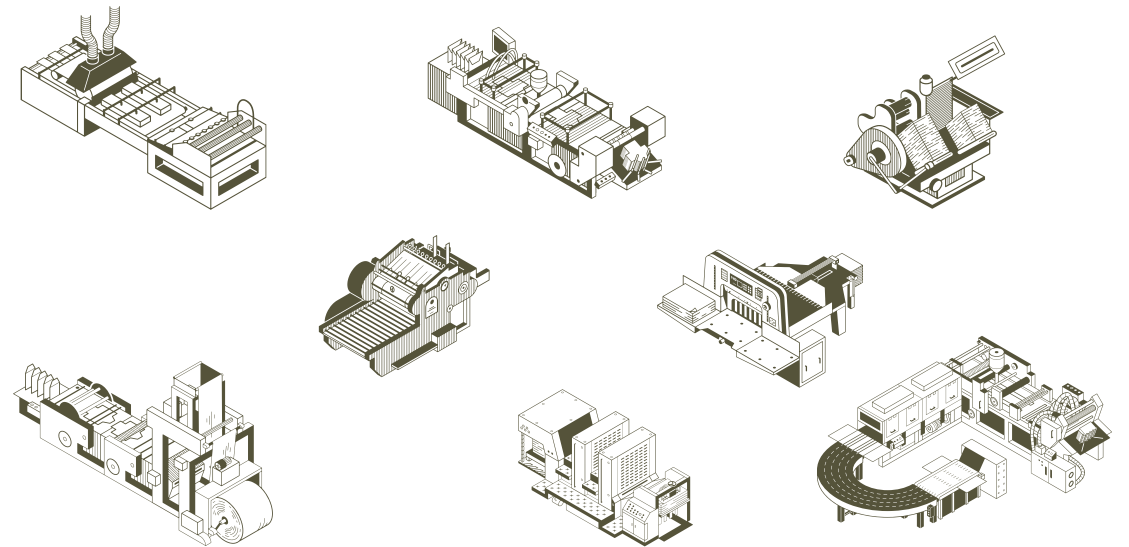
社名	株式会社 羽車		
創業	1918.10.7	設立	1936.1.1
代表者	杉浦正樹	社員数	160名
事業内容	封筒・紙製品の企画・製造・販売、インターネットによる通信販売		
事業所	本社(大阪府堺市) 東京オフィス・ショールーム		
関連会社	株式会社ウイングド・ウィール		





事業活動

羽車では、1,000種類以上の封筒、カード、箱、冊子、パッケージなどの紙製品、お客様のご要望に応じた別注品(オリジナルオーダー)の製造販売を行っています。



保有設備

- 断裁機 5台
- 抜き加工機 8台
- 平判製袋機 6台
- 洋形製袋機 4台
- 輪転製袋機 7台
- 印刷機 48台
- セロ窓加工機・口糊加工機・製本機・製函機など 45台

営業拠点

大阪・東京の各営業拠点では外勤営業とカスタマーセンターを設け、迅速に対応できる体制をとっています。
インターネットでの通信販売も行っております。
東京(表参道)のショールーム・大阪本社カスタマーセンターは、商品を直接手に取り相談や注文ができるスペースとしてご利用いただけます。

合計 123台

経営理念

「良いデザインを共につくる」

私たちが事業をする目的

お客様に対して

①お客様のブランド力を高め、
その良さを世の中に伝えるお手伝い

良いデザインを共につくる

社員に対して

②働く人の個性を尊重し、
成長の機会と安心感を与える

社会に対して

③社会課題に向き合い、
新しい企業文化を発信する

私たちが目指す人物像

誰からも声をかけられやすく、
いつも心が笑顔の人

日々の仕事に楽しさや、
やりがいを見いだせる人

目標を達成するために最大限の
努力をしている人

周りの人の仕事を助け、
チームワークの大切さを示せる人

常に謙虚であり、言葉づかいや
振る舞いに品がある人

アートとユーモアを愛する人

人を喜ばせたり感動させたりする
ことが好きな人

自身の健康と環境問題に
日頃から取り組んでいる人

新しいことに挑戦し、自分や
チームを変えていける人

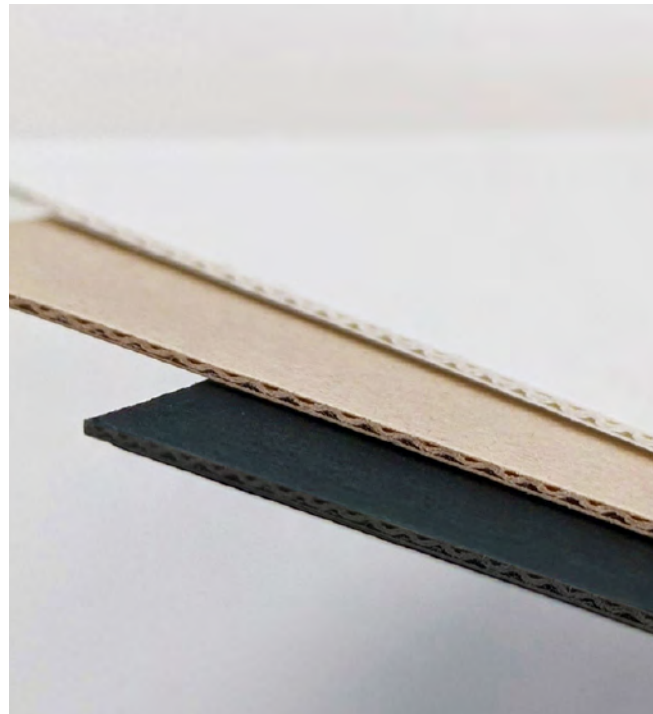
自分の考えを持ち、率先して
発言できる人



新しい価値の提案

新商品・新サービス

87期は、環境に優しくオリジナリティーの高い紙素材や、パッケージ商品に新商品が加わりました。企業らしさが伝わる紙製品をトータルに提案できるサービス展開を進めています。



オリジナル紙素材「Gフルーツ」
断面の美しさにこだわったダンボール構造の紙



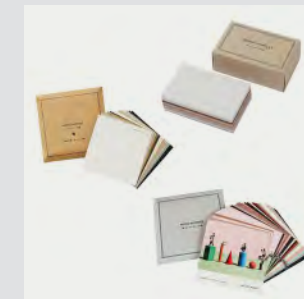
オリジナル紙素材「Fabric」
温かみのある布貼りの紙素材



デザイン入り薄葉紙
シーズンイベントに合わせたご提案(おばけ・ボタニカル・トリ)



Colors チャコールグレイ
環境に優しいオリジナル紙素材



ペーパーサンプルをリニューアル
紙と印刷色のご検討に



限定デザイン入りパッケージ
オリジナルデザインでご提案



フォルダー・タトウ式箱
薄い商品や書類を見栄えよく



温かな販促のご提案
グリーティングカードとギフト



デザインテンプレートの充実
デザイン経験がない方も簡単に
オーダーできる印刷物をご提案



新しい形状のパッケージを毎月ご提案
簡単に費用を抑えて作れる箱 デザイン性を楽しめる既製型をご提案

品質・環境・労働安全衛生の取り組み

「良いデザインを共につくる」

この経営理念のもと、デザイン性の高い印刷物を相談できるNo.1企業として全社員が努力し、経営全般の継続的改善を実施します。紙製品の主原料は木材パルプであり、森林保護・環境問題と切り離せない産業です。国際社会の目標「SDGs(持続可能な開発目標)」とも深く関わります。当社は企業活動を通じて、社会の発展と地球環境保全に貢献する活動に取り組み、人と環境に優しい持続可能なものづくりに自主的、積極的に取り組みます。

3

環境負荷を低減するため、下記について積極的な活動を推進します。

- ① 省エネルギー、CO₂排出量及び廃棄物の削減・リサイクル・グリーン調達推進。
- ② 整理・整頓・清掃・清潔・躰(5S)による業務効率の向上。
- ③ 過剰廃棄の見直しによる資源の有効利用。
- ④ 梱包方法、梱包材の見直しによる梱包資材の節約。
- ⑤ 化学物質の適正な管理、人と環境に負荷のない溶剤の使用。
- ⑥ 環境問題を全社で取り組むテーマとし、社員研修により意識を高める。
- ⑦ 循環型ものづくりの推進。



行動指針

1

品質・環境方針達成のため、品質・環境目標を各部門に展開し、継続的な改善を図る品質・環境マネジメントシステムを確立、維持し、定期的に見直しをします。

2

現在及び将来において適用される法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

4

顧客要求事項、及び法的・規制要求事項を満たす製品を提供します。

5

環境配慮型製品の普及推進、環境負荷の少ない諸資材(森林認証紙・再生紙・非木材紙・再生窓用フィルム・植物油インキなど)を使用した製品開発を積極的に行います。

6

品質・環境方針は全従業員に周知し、一般に公開します。



品質・環境管理事務局
品質・環境管理責任者
久山

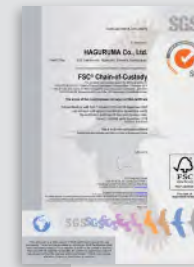
マネジメントシステム

品質向上、環境経営、個人情報保護体制については下記マネジメントシステムを導入し、常に改善活動を行っています。また、紙製品の販売においてはFSC認証の流通過程であるFSC®CoC認証を取得しております。各部門の上にISO・エコアクションの事務局をおき、品質・環境への取り組みを行うと同時に、定期的なマネジメントレビュー、内部監査などのスケジュール管理を行っています。



エコアクション21

エコアクション21は、環境省のガイドラインに基づいた事業者のための認証・登録制度です。環境負荷の項目として、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量について、削減目標を設定し数値管理をしています。さらに、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水、当社製品の環境性能の向上及びサービスの改善に取り組んでいます。



FSC®CoC認証 (FSC-C143210)

FSC®(Forest Stewardship Council®:森林管理協議会)認証とは、適切に管理されていると認められた森林から生産された木材や、その他のリスクの低い木材を使用した製品にFSCラベルを付け、認証製品として販売できる制度です。当社オリジナル原紙の使用量の内、約78%が森林認証紙を使用。非木材紙やグリーン購入法適合品なども含めると使用量中約99%が環境配慮原紙となります。

※CoC認証とは Chain of Custody=『管理』をつなぐ、つまりFSC認証製品の木材が確実に使用されていることを実証することが目的です。



ISO9001

羽車では、ISO9001に基づく品質保証システムを構築してきましたが、改めて『お客様視点に立ったものづくりの仕組み』を強化し、品質保証活動をより積極的に取り組むため徹底した品質管理を行っています。



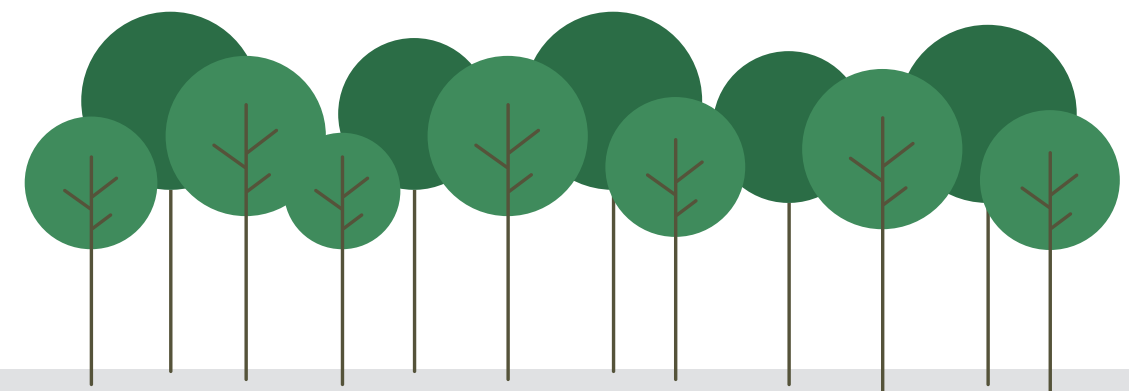
プライバシーマーク(Pマーク)

個人情報保護体制については、一般財団法人日本情報経済社会推進協会によるプライバシーマーク(Pマーク)を取得しています。定期的な審査により社内の個人情報取扱いの意識を高め、お客様により安心してサービスをご利用いただけるよう努めています。

環境方針実績・目標

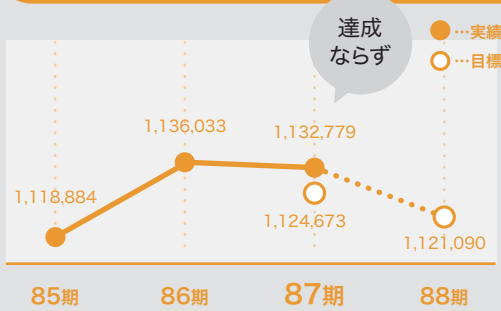
環境目標実績に対する87期の総括

87期は、7項目中3項目について目標値を達成しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた86期に対し、生産売上は昨年対比106.43%でした。今期より本社建物内の電力は、再生可能エネルギー100%となりました。今後も順次変更を進めます。



購入電力

単位：kwh



生産設備とエアコン(暑さ対策)の導入により、エネルギー使用量が増加しました。
 ※ 本社建物内の電力は再生可能エネルギー(100%)です。
 ※ 購入電力のCO₂排出係数は本社0.308、東京0.452で算出しました。

都市ガス

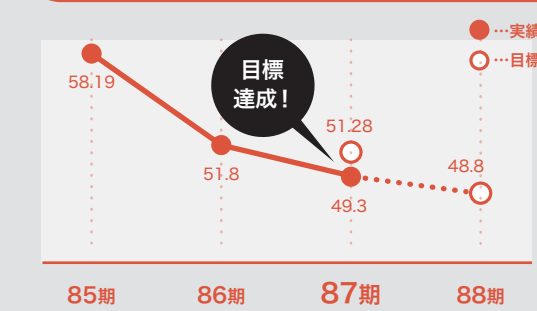
単位：m³



換気と時差出勤等で空調稼働が増加し、117.3%となりました。

廃棄物

単位：t



製造時に発生する余り紙の廃棄量を少なくする工夫や取り組みを全社で行っています。

排水量

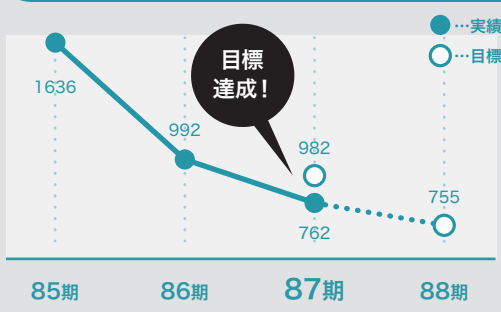
単位：m³



2022年5月に樹脂版作成時に発生する廃液の乾燥処理装置を増設。88期はさらに排水量の削減につなげます。

ガソリン

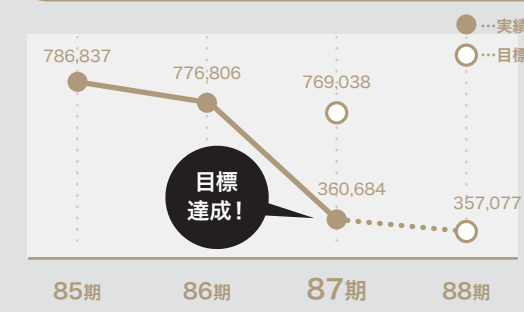
単位：ℓ



コロナの影響もあり営業車でのお客様の訪問機会が減り、使用量は減少しています。

CO₂ 排出量

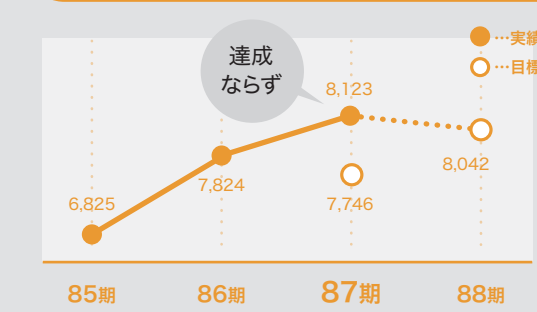
単位：kg



今期より本社建物内の電力が再生可能エネルギー(100%)となりCO₂排出量は「0」となりました。実績は前期比46.43%となっています。

コピー用紙

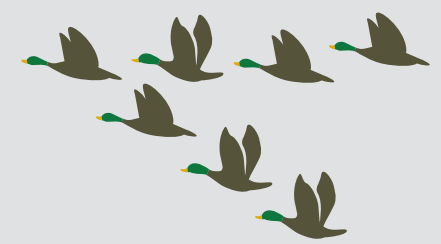
単位：kg



デジタル化を進めることでさらなる減少を目指します。

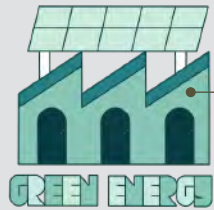
歩留まり率

コンピュータによる仕込み率に対し-0.5%を目標として削減を行っておりますが、社内システムの移行中につき今期は算出しておりません。



持続可能な取り組み

環境と人に配慮して開発した商品と、羽車が継続する取り組みをご紹介します。



本社電力を「100%再生可能エネルギー」に転換

2021年7月より、本社電力を水力・風力・太陽光に由来する再生可能エネルギーに切り替えました。節電への意識が高まり、電力は前年比99.7%に抑えられています。



環境に配慮した紙素材 Basic・Colors・Fabric

シンプルで風合いを感じるリーズナブルな紙素材を開発。森林認証紙、グリーン購入法適合、無塩素漂白パルプの紙素材などをご用意し、封筒やパッケージをご提案しています。



紙製パッケージ(脱プラスチック商品)の開発

レジ袋に代わる紙製の平袋や、紙製フォルダーをご用意。サイズ展開も豊富になりました。ショールームの店舗用袋にも紙製平袋を採用しています。



人にやさしい「リップルカット」の封筒

紙の端をゆるやかな波形にオリジナル加工し、封緘作業時の手指の安全性を高めた封筒です。



11年目を迎えた0円ペーパー

製造時に発生する余り紙をメモに仕立て、0円で販売。2011年からの取り組みで累計13トンの紙を利用いただいています。87期は使いやすいメモスタンドが加わりました。



ボックスペーパー

メモやDIYの材料用に、余り紙を小さくカットし「ボックスペーパー」としてご案内。小物入れとして再利用できるオリジナル箱入り。箱のデザインは随時変更しています。

品質向上への取り組みと事故件数

品質向上の取り組みとして、ISO9001のマネジメントシステムに加え、営業・管理・製造部門で行う製販品質会議、製造部門の品質会議を行いました。社内間のコミュニケーションを重視し、品質向上を目指しています。

製造現場からの10提案をフィードバック

生産効率、クレーム削減、5S活動、部署間のつながり、マニュアル作成等の提案を、製造部員が検証し進行しています。



取り組みの共有

取り組み内容は、更新ごとに社員通用口の掲示板に掲載。個々の目標設定「ハニカムシーズンゴール」に反映させました。

5S/安全衛生職場巡視

他部署のメンバーが定期的に巡回し作業環境を確認。客観的な視点から5S/安全衛生をチェックしています。



紙と印刷のガイドページ作成

風合いのある紙+印刷加工の見え方やリスクについてのご案内ページを作成。画像を添えてわかりやすくご紹介し、お客様の不安解消を目指しています。

ヒューマンエラー0への取り組み

書き写しミスによる「転記業務エラー」は、原稿カードにチェック項目を入れ、前期より28.3%改善。判断ミスなどの「誤認識エラー」は、伝達不足の原因が多いため意見を出し合い問題解決に取り組んでいます。



品質事故件数

87期のクレーム件数 前年比116%

内容は、お客様との認識違いや印刷色の濃淡が多いため、印刷特性の丁寧な説明が必要と認識しています。引き続き88期も品質事故削減に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症への対応

感染症拡大防止のため下記の対応を行いました

ショールーム(東京)完全予約制(8月~9月)・店内人数制限導入

ショールーム(東京)ビデオ接客を継続

ワクチン接種時の勤務免除対応

必要に応じた特別有給休暇を付与 13名

休業 17名

時差出勤 0名

テレワークの導入 23名



基本的な対応

発熱(37.5度以上)や風邪症状がある場合は入社しないこと、入社・帰社時の消毒もしくは手洗いの徹底、社内設備(食堂など)の時差利用、訪問営業からTELやメール対応への変更、会合への参加自粛など。

発症した社員への対応

発症した社員が安心して療養し仕事に復帰できるようサポートします。

87期前半は、保健所やかかりつけ医の指示を優先しました。

各自判断となった春以降は、各自の体調を確認しながら出勤日を指導しました。

社内事故報告

労働災害(社内事故) 5件

2021年10月 製造現場で転倒、近くの機械の作業台で左のわき腹を打撲(全治2か月)

2022年6月 印刷工程にて、原紙セットの際の重みで左肘と右肩の筋を痛めた(軽傷)

2022年6月 機械の清掃時に誤ってローラーを回して指を挟み負傷(全治2週間)

2022年7月 東京営業所内の階段にて最終段を踏み外し転倒、左足首をねん挫(軽傷)

2022年9月 作業場で誤ってロール原紙を倒してしまい、右足の甲を骨折(全治1か月)

通勤労災 0件

通勤労災は0件でした。会社付近の交通事故発生マップを作成し、注意喚起をしています。

生産中の事故 0件

小さな「ヒヤリ・ハット」を共有し、引き続き労働災害ゼロを目標に取り組みます。

苦情 0件

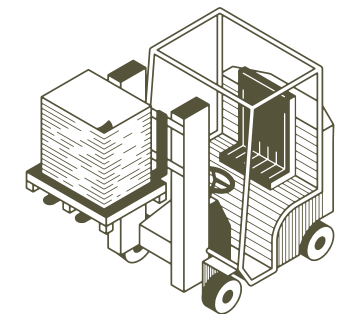
引き続き、工場内環境や周辺環境に対して法令順守を徹底いたします。

安全衛生職場巡視

製造部幹部による工場内巡視を年間16回行いました。

改善前・改善後は写真を含めた記録にて共有しています。

87期: 指摘箇所30件うち改善済み28件

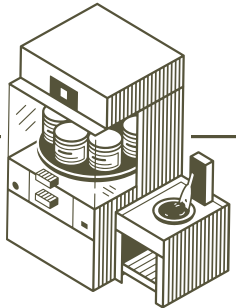




労働安全衛生への取り組み

労働安全衛生は最も重要であると考えます。私たちは、全ての社員が安全と健康を通じて豊かな人生を享受できることが、企業の社会的責任でもあると重要視しています。

- ・ リスクアセスメントに基づいた設備の安全対策、作業環境の整備や安全基本行動の徹底
- ・ 労働安全衛生活動の推進
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み
作業台パーティションの設置、作業前後のアルコール消毒、検温実施、各フロアの人流管理、換気を1日に10回(1時間ごと)実施
(衛生試験所の指針を参考)



化学物質などのリスクアセスメント

当社で使用する印刷インキや糊などの化学物質に関しては、リスクアセスメント※にて成分評価を行い、労働者への危険性および健康有害性の低減物資使用に積極的に取り組んでいます。また、オフセット印刷の刷版は、化学物質を使用した現像処理機を使わない製版作製を行い、化学物質ゼロにも継続して取り組んでいます。

87期の新たな取り組みは、樹脂版作製時の廃液乾燥処理装置の導入です。活版印刷用の樹脂版作製には、樹脂の不要部分を水洗いするため廃液が発生します。今までは産業廃棄会社へ依頼していましたが、2022年5月に廃液乾燥処理装置を増設し、樹脂を含んだ廃液を乾燥させ固形の産業廃棄物として処理できるようになりました。水の使用量を1/20以下で抑え、節水にもつながっています。

※リスクアセスメント：労働災害につながる原因を洗い出し、除去、低減するための手法



お客様・地域とのつながり



地域での取り組み

みつばちプログラム

羽車では廃番商品を教育機関へ無償提供する取り組み「みつばちプログラム」を堺市主催「学びの応援プログラム」に登録しており、87期も保育園や幼稚園より応募いただきました。(保育園・幼稚園17件 東区役所1件 合計18件)

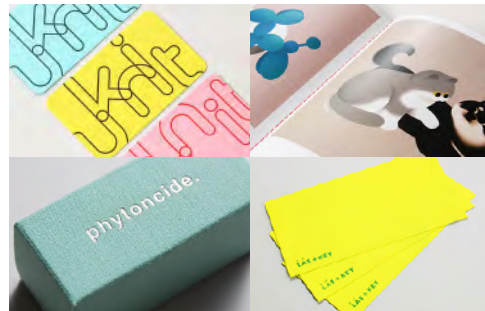
また、2021年11月9日に堺市の協力のもと、余り紙を利用して子供の創造力を育てるイベントを開催。イベントでは、登美丘西こども園(堺市東区)の園児27人と羽車の社員が協力しながら、「住み続けたいまち」をイメージして作品を制作しました。

作品は、2021年11月25日～12月3日まで「さかい SDGs 展」で展示されました。



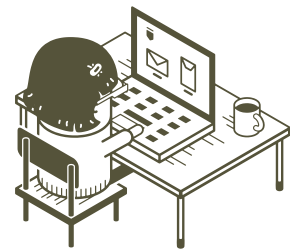
チャリティーピンキーリング

国際協力NGOジョイセフ(財団法人 家族計画協力財団)の取り組み「チャリティーピンキーリング」用のカードを作製・協賛しています。



制作例(デザインギャラリー)

ご注文作品を紹介する「制作例(デザインギャラリー)」には1500件以上の制作例をご案内。加工を検討中のお客様に大変好評です。(制作例数は2022年9月現在。掲載にはお客様の許可をいただいています)



羽車からの情報発信

HUG LETTER

haguruma.co/hugletter



ハグレターでは、情熱的に仕事にたずさわる方々や企業をたずね、その道のりや、ビジネスに使う紙とどう向き合っているかご紹介しています。不定期で更新しています。(2022年9月現在:27記事)



イラストを半立体のラグへ。
ブームのDIY「タフティング」がもたらす
新しい気風とは

tufting studio KEKE
代表 中武薫平 様



「食」でギリシャと日本をつなぐ
輸入販売ビジネスの醍醐味

HELIOS greekproducts
代表 Karampas Velissarios 様
副代表 Karampas Makiko 様

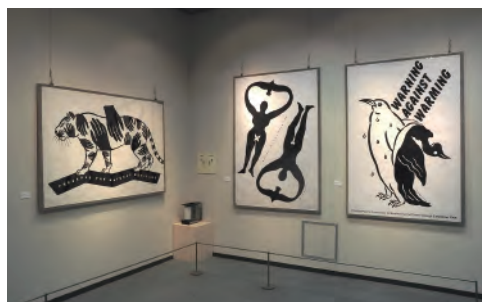


クラフトチョコレートを
サンフランシスコから世界へ

Dandelion Chocolate CEO
Todd Masonis 様

コラム 紙と生活

生活にまつわる身近な紙について、歴史やこれからの様々な視点で考察するコラムです。
(2022年9月現在:84記事)



時代を映す鏡 ポスターが表す世界観
(前後編)



ビールと人をつなぐコースターの
ユニークな用途と歴史

情報ページ 環境に優しい取り組みと企業事例

環境や社会に対し企業が取り組んでいる学び多い挑戦や、羽車の環境への向き合い方をご紹介します。
(2022年9月現在:11記事)



馬具のアップサイクルから生まれた、
革製パズルの楽しみ方
ソメスサドル株式会社 神田伸 様



手から手へ、思いと温度を伝える「tet.」の名刺
株式会社tet. 松下文 様
LED enterprise 野田竜平 様

HAGURUMAチャンネル

カスタマーセンターとショールームのメンバーが主体となり、インスタライブやYouTube動画の配信を行っています。新商品や加工についてフレンドリーにお伝えしています。



お客様インタビュー



惣菜の製造・販売会社 オーナーさま

長崎でお惣菜の製造販売をしています。オリジナル商品の発売にあたり、イメージにあったデザインでラベルを作りたくて、シールをオーダーしました。

気になっていたのは、商品ラベルとして文字サイズやホワイトの文字色がちゃんと見えるか、またイメージ通りに仕上がるかという点でした。担当の方から、見えにくいかもしれないという案内と、読みやすい書体のアドバイスをもらい、入念に確認しながら注文。結果、イメージに限りなく近いものに仕上がりました。紙や印刷の質も高かったので、Webで注文することの概念が変わりましたね。小ロットで注文できるのも、私たちのような小規模な店舗にはありがたいことでした。リクエストとしては、シールのサイズ展開がもう少しあると嬉しいです。今後の新商品も、商品の顔となるパッケージでお手伝いいただけたらと思っています。



通信販売会社 商品企画ご担当者さま

羽車さんとは、弊社の別事業部が依頼していたご縁があり、代表とともに大阪本社カスタマーセンターに伺いご相談しました。

今回新たにスキンケア関連の新商品を販売することになり、ボトルを入れる紙パッケージと説明リーフレットを相談しました。価格や注文の最小ロット数も検討点でしたが、やはりブランド全体のイメージがあるので、箱全体の最終仕上がりに最も気を遣いました。

羽車さんに直接伺い印刷サンプルを見ながら検討しまして、箱の形はフタをスライドして開封するスリーブ箱に決定。印刷や加工の色味、組み立てた箱の仕上がりをイメージして、こちらの要望や疑問点を質問しました。何度かの修正にも迅速に対応していただき、イメージにぴったりのパッケージが仕上がりました。



メーカー・商社 マーケティング部ご担当者さま

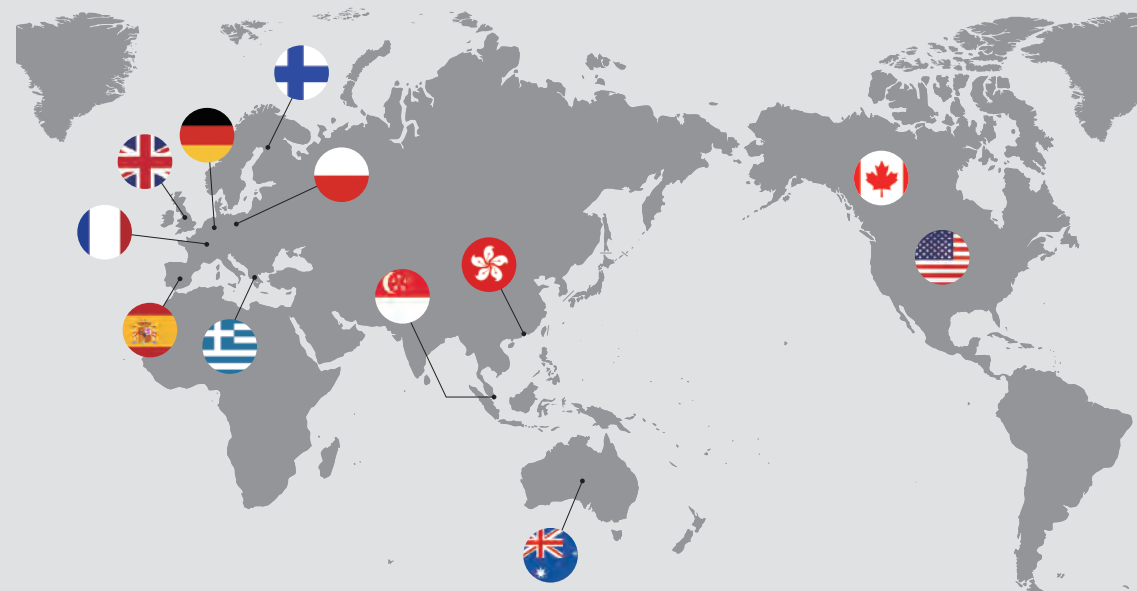
私は、社内で機械部品の輸入販売に関するマーケティング担当をしています。

羽車のホームページは、紙サンプルのイメージだけではなく、その紙で実際に作成した封筒やカードなどのイメージも多数掲載されている点が魅力だと思います。これまで、ダイレクトメール用の封筒やお客様へお渡しするノベルティ用の印刷物などを注文させていただきました。

印刷物を注文したい時、ネット上で済ますことも可能ですが、私は実際に羽車のショールームに伺うことが多いです。紙の印刷サンプルを手に取りながら直接スタッフに相談をさせていただきます。その場で概算のお見積りと納期の確認ができるので大変助かっています。商品やサービスについては十分満足していますが、可能であれば、箱の紙と加工の選択肢を増やしていただけたら嬉しいです。

海外とのつながり

羽車が提供する商品・サービスについて、よりグローバルな価値を生み出すために、私たちは海外とのつながりを大切にしています。



お客様の声

箱、シール、ショップカードなど複数のアイテムをクライアントに提案できていいですね。(デザイン関連)

美容アイテムの箱をサイズ違いでオーダーしています。ちょっとした質問は電話で気軽に相談できて頼りにしています。(コスメ関連)

急用でショールームに行けなかった際、ビデオ通話に切り替えてもらい助かりました。(飲食関連)

素敵な制作例が多くて、創作意欲をくすぐられます。見ているだけでも楽しい。(デザイン関連)

箱の種類によって選べる加工が異なるので理解するのが難しかった。(小売店)

印刷に詳しくないのでもっと簡単に注文したい。

改善しました

「定番デザイン・仕様の印刷注文」ページを作成しました。環境配慮の紙+シンプルデザインをリーズナブルにご案内。お試し注文としても好評です。

外国人デザイナーとのコラボレーション

定期的に海外のデザイナーにご協力いただき、商品開発やサンプル作成を行っています。87期には、イギリス、フランス、ポルトガル、ポーランドなどのデザイナーとのコラボレーションが実現しました。また、Webメディア「HUG LETTER (ハグレター)」のお客様への取材では、アメリカのチョコレートブランドの代表者、また日本で活動されているギリシャ出身の方にご協力いただきました。

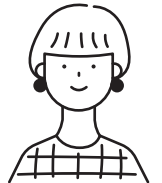




私は、香港にあるファッションブランドのオンラインストアにてサイト運営を担当する傍ら、プライベートのビジネスとして、ジュエリーやアクセサリ、小物雑貨などのハンドメイドブランドを展開しています。HAGURUMAでは個人的なブランド用として商品パッケージ関連の商品を注文しています。主に、これまで紙箱、リーフレット、梱包用封筒、封かん用のシールなどをオーダーしました。

ネット検索でHAGURUMAを知ったのですが、第一印象は、非常によくデザインされたウェブサイトだなと思いました。また、直感的にサイトを触ることができて分かりやすいです。特に自動計算の機能は、すぐに見積もりを確認できるので大変助かっています。また、ご担当いただいているスタッフはいつも親切に対応してくれて、英語でのやりとりもスムーズで感謝しています。

香港 ハンドメイド雑貨ブランド 代表



イギリス、ロンドンにて文房具の店舗を運営しており、主に海外からの文具を取り扱っています。私の主な業務は世界中で商品を探し、注文の手配をすることです。HAGURUMAはインターネットで偶然見つけることができました。ワンポイントのモチーフがかわいらしい700番シリーズのカードを主に注文しています。店内でもとても人気があるんですよ。取り扱っている商品はとても美しく、担当してくれているスタッフも親切で、HAGURUMAにお願いしてよかったと思います。私たちは、一緒に仕事ができることをとても嬉しく思っています。

イギリス 文房具店 商品開発担当



自身でデザインした、花瓶、カップ、皿など、陶磁器の生活用品を小ロットで生産しています。HAGURUMAは、お客様でもある友人から紹介していただきました。主に、商品を入れるためのグレーのホッチキス箱やコースターなどをオーダーしました。

HAGURUMAの商品は、使用している紙や印刷加工が高品質であるにもかかわらず、価格はリーズナブルです。仕上がりのクオリティの高さは言うまでもなく、作成期間も早いので大変助かっています。担当者はいつも対応が早く、私たちの質問に的確に答えてくれるので安心です。HAGURUMAは、とても信頼ができるメーカーです。

シンガポール セラミック製品ブランド 代表





HAGURUMA Family

日々共に働く160名のHAGURUMAファミリー。働きやすい環境、研修制度、スタッフインタビューなど、羽車を内側からご紹介します。



外部研修

87期は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績がありません。

社員の働き方とワークライフバランス

社員が仕事を通じて成長できるように、資格取得の支援や社員研修を実施しています。子育てしながらの仕事、定年後の再雇用など働き方の多様化に対応しています。安心して長く働ける環境は、社員だけでなく会社にとっても大切なことだと考えています。

育児と働き方

この5年間での出産後の復帰率は、約9割となっています。育児休業後は、子どもが3歳になるまで、短時間勤務を選択できます。ほとんどの方が短時間勤務制度を利用して、通常勤務へと戻っています。現在の産休・育児休業取得者は0名、子育て中の短時間勤務者は3名となっています（2022年9月時点）。保育園などの環境が整ったら相談の上、スムーズに復帰できるように対応しています。

働き方の多様化への対応

能力・スキルを持った社員が、家事や出産育児、介護などの様々な制約がある中で、長く働くことができるような支援、制度の構築にチャレンジしています。テレワーク社員とのコミュニケーションには、Googleチャットを活用し、遠隔でも業務を円滑に進められるようにしています。

SDGs



羽車では、2020年6月にSDGs(持続可能な開発目標)の社内プロジェクトチームが発足しました。現在8つの取り組みについて活動しています。新しい取り組みとしては、2022年9月に社内でプラスチックの環境問題に関する映画の上映会・意見交換会を実施して24名が参加し、海洋汚染の問題を今一度考える良い機会になりました。今後も、適宜見直しを行いながら、より良い取り組みの継続を目指します。



SDGsメンバー
事務局長 田中

有給休暇と残業

2021年4月1日～2022年3月31日までの有給休暇取得率は、昨年度を上回り76.7%でした。

社員が自由に休暇を取れる環境を推進し、有給休暇取得率90%を目指します。

87期の残業に関しては、1か月平均19.7時間/人となり、86期より少し増加しました。

依然としてコロナ感染による欠勤者のフォロー等も影響しています。88期は、勤務間のインターバル

11時間を推進し、効率化およびチーム体制を強化し、引き続き残業時間の縮小を目指します。

定年再雇用制度

製造会社にとって、熟練したスキルを持つ社員は大切な存在です。定年後、継続して雇用を希望する場合は定年再雇用制度を利用することができます。現在17名(75歳以上=2名、70歳以上=1名、65歳以上=2名、60歳以上=12名)の社員がこの制度を利用して働いています。今後も長く就業を希望される方は増加傾向にあります。75歳以上の方の働き方について、体力面や体調管理を考慮し、週3日勤務を基準として面談により就業時間を決めていきます。連続勤務は上限3日までとなっており、健康診断を実施しています。

クラブ活動

アート部・ガーデニング部はコロナの影響もあり今期の活動を見送りました。

羽車ゴルフコンペは、6月に奈良県奈良市で開催し、ゴルフ部の12名が参加、交流を深めました。

<p>3 3 すべての人に 健康と福祉を</p>	<p>健康宣言 従業員の予防・健康づくりの取り組み</p> <p>ウォーキングイベント 118名参加、全体での一日平均歩数は6,747歩(2022年4月実施)</p> <p>社内敷地内の全面禁煙 (2022年1月～)</p>	<p>4 4 質の高い教育を みんなに</p>	<p>ミャンマーの子供たちに絵本翻訳シールを貼る社内ボランティア活動 (32名が参加)</p> <p>社内図書にて自然科学雑誌「ナショナルジオグラフィック」を貸出 (87期 延べ34名が利用)</p>
<p>5 5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>	<p>女性雇用の充実 育児休暇取得の促進 ライフスタイルに合わせた勤務体制</p>	<p>8 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>外国人デザイナーとのコラボレーション 4か国</p>
<p>7 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>本社工場電力を100%再生エネルギーに(2021年7月より)</p>	<p>17 17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>	<p>アイシティeco プロジェクトに参加 空ケースの回収(7.02kgを寄付)</p> <p>堺市主催 登美丘西こども園での余り紙ワークショップへの協力</p>
<p>12 12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>15 15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>環境配慮の羽車オリジナル原紙を新たに2種類を開発。全24種類となり、主力商品の多くがエコを考えた商材となりました。また工場では、3Rの実施や廃番品・余り紙の販売によって、87期の廃棄率は月平均28.6%となり、前期より-2.7%減少しました。2030年までの目標廃棄率17%を目指し取り組みを継続します。</p>	



社員インタビュー



猪瀬(いのせ)
製造部 第二生産課

環境に優しい取り組みをしていますか？
平日のラジオ体操はかせません。土日は近所を散歩します。近くに法隆寺があるので、その辺りを散歩して、午前中に1万歩になることも少なくありません。

趣味
最近始めた新しい趣味は、自然の中でのBBQです！



1984年に今の羽車の子会社としてウイング株式会社に所属しました。ウイングでは、封筒の印刷部門を担当していました。当時の羽車は、長い間松原市に本社工場があって、その後2010年に今の本社へ移動したので、松原時代のほうが私は長いですね。

当時は、主力商品は封筒だったので、主に茶封筒に社名などを印刷する担当をしていました。

封筒や名刺の印刷機は、業界でいうところの小型機で、意外と昔も今も劇的には変わっていません。小型機のいいところは、職人技を極めるというよりは、若手でも意外と覚えやすいところ。今でも多くの若手が社内で活躍してくれています。

ただ、製版技術は驚くほど変わりましたね。昔は、今のような製版の技術はなく、写植機(モリサワ)が一般的で、一文字一文字転写して、ネガから製版へと、プロセスが今より大変でした。

そんな時代から、Macが出てきて一気にDTPの時代へ。パソコン一台でレイアウトや印刷まで行うDTPが台頭してきました。昔の印刷業界は流れが早く、怒涛のような時代だったんですよ。とにかく、新しい技術へ対応しなくてはと焦ったものです。と同時に、そんな時代の流れを見るのはとても面白かったですね。

今は、印刷担当者へのサポート、伝票整理、前準備などを行っています。羽車を見ていると、封筒やカードだけではなく、時代のニーズに合わせてパッケージまで展開して、昔より取り扱う商品も変わってきました。また、環境に優しい取り組みにも積極的に行っていて、印刷にまつわる改善も積極的に行っています。私もエコアクションの取得に携わっていますが、毎年の更新を順調に進めていきたいと思っています。



岸(きし)
製造部 第三生産課

環境に優しい取り組みをしていますか？
まずは節電！あと松原市はゴミの分別が細かいのできっちりやっています。

趣味
今はパズルにはまっています。大好きな猫のダヤンの2000ピースパズルは、じっくり没頭できる時間が楽しかったですね♪



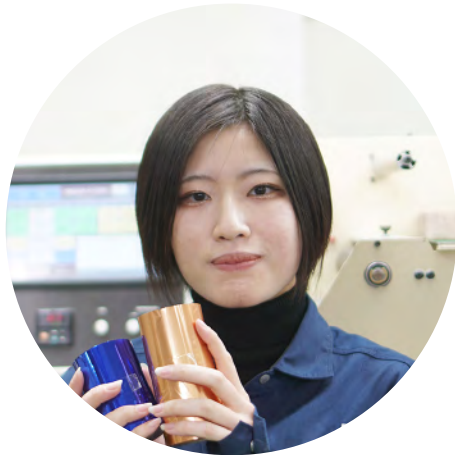
私は主に、ホッチキス箱の組み立てを担当しています。今年で入社6年目になりました。箱を作る作業は、まず角を折り、指で押さえながらペダルを踏みホッチキス針で固定します。大きな箱は紙を折り込む作業に時間がかかり、指の力も使いますね。小さな箱なら、1時間に100個ペースで作業しています。

ホッチキス箱、糊どめ箱、冊子を作るチームにいますが、入社時よりかなり仕事量が増え、サイズや紙の種類もますます充実してきました。印象に残っているのは海外のチョコレート屋さんの箱。たくさんのご注文をいただき、ほぼ1か月その箱を作り続けました。厚紙で角を正確に折ることが難しかったのですが、無事仕上げた時の達成感はひとしおでした。

私は元々洋裁を学んでいて、コツコツとこなす手作業が好き。子どもの頃から紙ものも大好きで、封筒や便箋を集めていました。入社して工場を案内いただいた時、大好きな紙に囲まれて働けるなんて！と感激したのを覚えています。

仕事で成長を感じるのは、チームとして連携して働けるようになったこと。今まで4名体制でしたが、少し前から3名体制になりました。限られた機械と人で納期通り作るために、3名で手順や困りごとを日々共有しています。箱が早く終わったら、冊子の作業準備を手伝うなど、周りをよく見て段取りよく作業できるように考えています。

これからも、よりスムーズに進められるようにコミュニケーションをうまくとっていきたいです。



環境に優しい取り組みをしていますか？
 農芸高校でSDGsについて学び、かなり鍛えられました。高校時代に、廃棄されるはずの野菜でピクルスを作って、イベントで販売しました。それ以来、エコの意識は高くなったと思います。

趣味
 アニメの絵を描く事。
 結構気合を入れて本格的に仕上げます！



佐藤(さとう)
 製造部 第三生産課

羽車には今年の4月に入社して、まだ社会人一年生です。
 現在、旧式の小型の箔押し機を担当しています。主に枚数が多い封筒とカードに箔押し加工をしています。箔押し機は、箔と紙によって箔が付きにくいこともあります。その調整が思ったよりも難しいです。

毎日の業務は、まずは急ぎや大口のご注文など、どれを先に進めていくかの段取りを決めていきます。いかに効率的に進められるかが決まるので、段取りは業務の中でも特に大切なだと日々感じています。また、「箔版」を貼る作業はとても難しいのですが、まっすぐ貼れた時は素直に嬉しいです！

仕事の中で成長したと感じることは、社会人としては当たり前のことですが「敬語」が使えるようになってきたことです。また、今の部署では、先輩方が優しく指導してくださり、チームワークもあるのでとても安心してます。

それぞれの機械には、注文ごとに型を替えるという作業があります。今年の冬までにこの型替えを一人でこなせるようになるという目標があります。まずは、先輩の手際よい作業をみながら、数をこなして達成できればと思っています。

箔押し機は私が担当している機械の他にも、様々な種類があるので、少しずつスキルアップをして多くの箔押し機を担当できるようになりたいです。



環境に優しい取り組みをしていますか？
 食べ残しはしないようにしています。ちなみに社食で好きなのはとり天。ポン酢がおすすめです。

趣味
 休日は友達とゲームやYoutubeをみてのんびり。平日と休日、どちらの自分も心地よく過ごせています。



小倉(おぐら)
 製造部 第三生産課

昨年の春に入社して1年半経ちました。今の担当は、主に糊どめ箱の製函機です。100個の箱を30分で生産する機械ですが、最近は500個、1,000個を超える数が多い注文も増えてきました。

糊の出方は均一ではないので、仕上がりを常にチェックをします。糊が多いとはみ出した糊がローラーで固まるので気が抜けません。サイズが変わる度に型替えをしますが、木型の設定も15分程度でできるようにしました。

トラブルなくスムーズに箱が作れると安心しますし楽しい。逆に難しいものは苦戦することも多いのですが、先輩の久留島さんに「機械に話しかけるような気持ちで」と教えてもらい、機械をほめたり叱ったりしながら付き合っています。設定が一発で決まると「やればできるやん!」と言ってしまったり。機械ですがなんとなく弟分のような存在です。

学生の時は、人と話すのが得意ではなくとても緊張していました。でも今の部署ではいつも優しく話しかけてもらえて、徐々に自分からも話せるようになってきました。少し前の私からは想像もできません。成長できたなと思います。糊どめ製函機を任せてもらってからは、さらにみんなと話す機会が増え、今は毎日のように打ち合わせをして作業にあたっています。

最近はホッチキス箱の練習も始めました。作業できる人が増えれば欠員の時にもフォローし合えますので、チーム内の機械を動かせるようになりたい。もう少し視野を広くして、どの作業を進めるべきかもっと考えて動けるようにしたいです。

